



メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	大阪大学・箕面キャンパス国際フェスティバル …… 1	紹介	2021年11月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
報告	ベトナム語翻訳チームインタビュー/技能実習生のこと …… 2	カレンダー	協会・他団体からのお知らせ …… 6
報告	外国人防災アドバイザーが活躍中! …… 3	お知らせ	編集後記 …… 8



## 大阪大学・箕面キャンパス国際フェスティバル (2021.10/02-03)

2021年4月、新しく箕面船場へ阪大外国語学部箕面キャンパスが開校した。それを記念して10月、国際フェスティバル「ようこそ、箕面船場国際空港へ」が開かれた。学部長の挨拶にも「いつもなら留学などでどんどん海外に出かける外国語学部の学生たちが、外国はおるか、友人と会う事もできない中…」とあったように、昨年からのコロナ禍で学生たちは疲弊していたに違いない。

ふたんなら入る事の出来ない学生たちの学び舎が、今日ばかりは一般の人たちにも開放されるとあって、私が到着した12時前には入り口は長蛇の列だった。学生だけでなく、高齢者も子ども連れの若い夫婦も皆、3、40分待ちだった。事前登録していたので、もっと簡単に入れると思っていたのは甘かった。中に入ると登録済みの人にはスムーズにリストバンドが渡され入館することができた。

階段を上がると、3階の屋外デッキ。模擬店コーナーがあり(コムカフェもヴィーガンサンドを出店)、メインステージでは学生たちのパフォーマンスが行われている。南側には市立船場図書館(大学図書館の機能を持つ)と、その奥に市立文化芸術劇場。市は国際色豊かな文化の街を期待しているらしい。

3~5階は子どもたちも楽しめるスタンプラリーや、クラフト教室が行われている。6階に行くと、民族衣装コレクションや、民芸品の展示や世界の写真展など。

一番奥の教室では国際交流協会と学生事務局の主催によ



る『みんなの一日知ってみたい!~7人の物語~』コーナーがあった。、いろいろなルーツを持つ7人をゲストに招き、それぞれの1日を話してもらった参加型セッションで、私が聞いたのはリンさんの「小学校時代の1日」。彼女は首都ハノイの出身である。

働いている親が多いため、朝ごはんは外(屋台)で食べる事もある。親のバイクに乗せられて学校に着くと、クラスは60人ぐらい。お昼は給食だが生徒数が多いので、移動せずに教室で食べる(これは日本も同じだと思う)日本と違うのは昼寝があること。机を広げると長いベッドに早変わり。

全員がそこで休むのだが「落ちる人はいないの?」という質問に「時々はね」とリンさん。昼寝後はおやつを食べて、5時まで授業。親が迎えに来てバイクに乗って帰宅。送り

発行・差出人:公益財団法人箕面市国際交流協会(MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel: 072-727-6912 Fax: 072-727-6920 E-mail: info@mafga.or.jp HP: www.mafga.or.jp

賛助会員数: 272名 法人会員数: 27団体 (2021年10月16日現在)

迎えは、学校が遠い事、道路が混んでいて事故が心配だという2つ理由からという。

外の野外デッキでは、情熱的なスティールパン演奏が行われていた。トリニダード・トバコの民族楽器スティールパンは、奴隷たちがドラム缶を音が出るように加工して、音楽を楽しんだのだと聞いたことがある。雇い主がとんで来ると、「ただのドラム缶ですよ」とうそぶいた。音を出しても、音階が順番に並んでいる訳ではないから楽器と気付かれずにすんだのだという。

屋外から中へ、また教室内の出入りに、リストバンドの

QRコードにタッチしてもらわないといけないため、あちらこちらで密状態が起き、もう少し何とかならない?とも思ったが、学生たちは知恵を出し合っているいろいろ考えたのだらう。コロナ過でなければ、こんな楽しいお祭りをもっと楽しめたのと思う。

今後願うならば、災害問題、人権問題、貧困問題など、日本と世界が抱える大きな問題にも取り組み、一般の人々にも分かりやすく発信してほしいと思う。学生たちのあふれる力と頭脳に期待している。(井嶋)

## ベトナム語翻訳チームインタビュー

「みのお多言語ポータル」では、箕面市で暮らす外国人市民に向けての生活情報を多言語で発信している。2021年9月時点の箕面市の外国人市民は2915人。そのうち最も多いのが中国籍(約30%)、次いで韓国籍(約21%)、そしてベトナム籍が3番目に多い(約13%)。箕面市にもベトナム籍の人口が増えており、現在、留学生や技能実習生など幅広い分野で活躍している。

今回、ベトナム語翻訳グループのボランティアである5人に話を伺った。

### メンバー自身が活動を通して得られたもの

5人は大阪大学で学ぶ留学生だ。毎月数本の生活情報に関する記事をベトナム語に翻訳している。全員に共通するのは「日本に住むベトナム人をサポートしたい」という思い。しかしそれと同時に、翻訳のボランティアは他者のためだけでなく自分のためにもなっていると話す。



▲ ガンさん

翻訳活動を通して、“この日本語はベトナム語でなんと言うのだろう”という発見がある。単語の意味や用法を調べながら翻訳しているので、自分自身が日本語を深く学ぶきっかけにもなっている  
(ガンさん)

このボランティアをきっかけにMAFGAと関わりをもつことが出来たのは良かった。(ハさん)



▲ ハさん



▲ ホアンさん

言語学習に興味があるので、この経験を活かしたい。将来は日本でグローバルに活躍できる人になりたい。  
(ホアンさん)

### 一方で翻訳活動において大変なこともある。



▲ リンさん

翻訳の仕方は人それぞれなので意見が合わないことも。そうした場合は、翻訳した内容についてメンバー内で議論をする。いつも読み手を思って書くことを心掛けている。  
(リンさん)

翻訳をする中で、対応するベトナム語が存在しない単語に出会うこともある(例えば“かかりつけ医”など)。そのような場合は、最も意味が近い言葉で伝わるようにしたり、ローマ字で表記してそのまま検索できるようにするなどの工夫をしている  
(アインさん・ガンさん)



▲ アインさん



▲ ガンさん

メンバーの一人ひとりが試行錯誤しながらも協力し、より市民に伝わりやすい情報提供を目指している。そして、その経験を自分自身の成長へとつなげようとする前向きな姿勢が印象的だ。

## 「日本に住むベトナム人」の立場の違い

箕面市においてベトナム籍の技能実習生が増えている現状を踏まえ、留学生であるボランティアメンバーの皆さんと地域の技能実習生とのつながりについて聞いた。すると、そもそも技能実習生の知り合いがいない、もしくは日本語支援のボランティア活動や友人を經由して関わりを持ってはいるものの、直接話す機会はありませんという答えが返ってきた。

大学で勉強する留学生という立場と、建設業、農業、製造業、介護など様々な現場で働く技能実習生という立場。同じ「日本に住むベトナム出身の市民」の中でも、それぞれ異なった環境の中で暮らしており、見える世界もおのずと異なることがうかがえる。留学生は、比較的豊かな経済資本や社会関係資本をもとに日本にやってくる人が多い。大学で高度な教育を受けて得た様々な知識やスキルを活かし、卒業後は母国や日本、その他の国で活躍する道が開かれている。一方で技能実習生の中には、自分自身や故郷で待つ家族がより良い生活をするために、借金をしてでも日本で働く道を選ぶ人もいる。両者の置かれた境遇の格差と、それぞれの目線の違いに気づかされた。

## より多くの方が情報を目にするために

ベトナム語翻訳ボランティアの尽力もあり、箕面市に住むベトナム人市民がわかりやすく信頼できる生活情報を得られる環境は、少しずつ整備されつつある。しかし一方で、情報の入手方法を知らない、もしくは目にする機会がない人も少なくない。

インタビューの中で、ハさんは「記事の翻訳をしてはいるものの、なかなか必要とする人に届いていない」という感想を話してくれた。実際、今回インタビューを行ったメンバーからも、「実はこの活動を始めるまで、あまり広報誌などを読んだことがなかった」との声があがった。

生活情報を多言語で発信することは市民生活の安心につながる。しかし、この情報が広く認知されていなければ、かえって市民間の格差を助長してしまうかもしれない。

特に来日したばかりの留学生や技能実習生など日本語にあまり慣れていない市民の場合、自力で情報を入手するハードルが高い。受け入れ先の学校や企業との連携をもとに人と人とのつながりを大切に、地域の中の私たち一人ひとりが顔の見える関係作りをすることが大切だと考えさせられる。(中島)

## 技能実習生のこと ～制度と人と地域の間で～

9月11日、めろん編集グループで技能実習制度についての学習会を開催した。今回は『ルポ 技能実習生』(澤田晃宏,2020)をもとに、その制度、前借金や失 踪、中間搾取などの構造的な問題、また様々なリスクを冒してもこの制度で働く人が増加する背景などについて学び、意見交換を行った。

国連の人種差別撤廃委員会は日本の技能実習制度を「虐待的かつ搾取的な慣行」と非難しており、実際に技能実習生の支援にあたる人々の間では「制度そのものの廃止」を求める声も大きい。その一方で、その数は年々増加しており、現在日本に暮らす外国籍住民のうち12.5%(約35万人)が技能実習生である。これは永住者(29%)に次いで大きいグループだ。(ちなみに留学は8.1%、約23万人)箕面市でも技能実習で働く外国人市民の数がこの数年で急増している。介護や建設、農業や漁業など様々な分野で日本の社会を、地域を支える存在となっているのだ。しかし地域のなかでは、その存在を知っている人、つながりがあるという人は少ない。日本語教室など協会の事業に参加する実習生もいるが、まだわずかである。

できるだけ多くの貯えを持って帰国するために異国で懸命に働く技能実習生たち。中間搾取、人権侵害、失踪などを生むこの制度そのものの問題。同じ地域で暮らしながらその存在すら知られてないという私たちの地域の現実。このなかで「多文化共生の地域づくり」を掲げる国際交流協会は、技能実習生一人ひとりと、またこの制度とどのように向き合い、関わっていくべきなのか。協会としてこのテーマについて、少しずつ取り組みを進めていきたい。(河合)



## 外国人防災アドバイザー活躍中

### 1. 「外国人防災アドバイザー育成事業」について

日本は災害大国と言われている。他国と比べて、地震、津波、火山噴火、大雪、大雨、洪水、土砂災害、台風などの自然災害が発生しやすい国土である。そのため、子どものときから学校や地域で避難訓練が実施され、そこで防災に関する知識や技術を学び、啓発が行われている。また、外国人市民と比べて災害情報へのアクセスもしやすい。

しかし、外国人市民はそれぞれの国土の特徴や文化的および社会的背景によって、災害に関する認識や捉え方が異なる一方、日本における災害リスク、防災体制や仕組みについての知識を得る機会が少ない。さらに、普段から地域との繋がりが希薄な外国人市民は言葉の壁をはじめ、色々な課題を抱えながら暮らしているため、彼らに伝わらないことが多い。このような状況から協会は去年より「外国人防災アドバイザー育成事業」を始めた。

災害に遭遇したとき、目の前の状況に対して適切に行動し、想定外の事態から自分自身を救う能力を持つ外国人市民を市内全体で増やすことが目的。

### 2. 箕面市「外国人防災アドバイザー」とは

防災研修の受講および防災訓練の参加後、防災セミナーや企画などの実施に主体的に取り組むことができる外国人市民が対象で、研修の終了後に、箕面市より「外国人防災アドバイザー」として認定される。

2020年には、箕面市市民安全政策室の職員や人と未来防



2020年度箕面市「外国人防災アドバイザー」に認定された5名。(写真左から)中国留学生の余華さん、ベトナム出身のシチ・ゴック・トゥエットさん、イラン出身のアリスル・レイラさんとジャヘドサデ・ショルフラグ・ベナムさん、韓国出身の 恵麟さん。

災センターの研究員の楊梓さんを講師として招き、箕面市の災害リスクや防災体制、災害情報発信の仕組みについて学んだ。また、避難の判断や箕面市での避難所の運営等について知り、【My 避難行動ワークショップ】を通して、自分を主人公とする災害発生時の物語を時系列に沿って記述し、災害時のアクションプランを形成した。

2021年には、5人の外国人防災アドバイザーが日本社会で暮らしていくなかで日ごろ感じている疑問や困りごとなどについて話し合いながら、防災・災害に関する知識を身に付ける機会を外国人市民にどのように提供すればよいかについて議論した。

結果、彼らは研修で得た知識をもとに、災害に対する備えとして①停電と発電機の利用、②防災グッズの紹介と利用、③非常食の紹介というテーマで日本語教室の学習者を対象にイベント実施を予定したが、緊急事態宣言のため実施が難しくなった。そのため、同じ内容で外国人市民にわかりやすく防災啓発用動画を作成している。

ベナムさんが停電の不安と自分の経験、停電になると何に困るか(携帯、トイレ、冷蔵庫など)、蓄電池と発電機について日本語とペルシャ語で紹介している。恵麟さんが防災グッズや普段の生活の中で少し工夫してできる「防災」について日本語と韓国語で紹介している。アリスル・レイラさんが長期間保存できて、災害の時に、簡単に食べられるアルファ化米やパンなど「非常食」について日本語と英語で紹介している。また、ドライフルーツや缶詰めなど母国の保存食についても紹介しながら、日常で使用し、災害時にも食べられるものを「ローリングストック」して備えることの大事さを教えてくれた。

今後は動画を日本語教室などで上映していく予定だ。

### 3. 「外国人防災アドバイザー」への期待

地域の一員である外国人市民が災害発生時にも、地域の人々と助けあうことができる仕組みづくりが大切である。外国人防災アドバイザーの取り組みを通して、防災意識の高い外国人市民が増えることが期待できる。さらに、自分のコミュニティや周りの人と知識や情報を共有していくことによって、まず箕面市全体に「自助」ができる外国人市民が増えることをめざす。外国人市民が少しずつ地域につながることであれば、「共助」の土台ができると期待する。(パイサ)



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

## おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】〒562-0023

箕面市粟生間谷西3-7-9シャトー野間1F

阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い

☑無料駐車場 有

TEL : 072-730-0721



エスパー

能勢

espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間：金～月 11:00～17:00

<http://espero-osaka.com/>

### 箕面市国際交流協会の 多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912  
(日本語・英語)

メール [soudan@mafga.or.jp](mailto:soudan@mafga.or.jp)

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター

11月  
November



# comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

9:30 - **モーニング** (11:00am L.O.)  
 9:30 - 11:30 **朝カフェ**  
 11:30 - 14:00 **ランチタイム** \*売り切れ次第終了します  
 - フルメニュー ¥880  
 - 限定メニュー ¥770  
 14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日

\*ランチはありません

9:30 - **モーニング** (11:00am L.O.)  
 10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ¥660 (ドリンク付)  
 9:30 - 15:00 **ランチセット** ¥510 (ドリンク付)

おしらせ

■コロナウイルス感染拡大防止対策のため、  
**テイクアウトのみ**の営業となります。  
 お弁当のご予約お待ちしております！

→ ご予約 (comm cafe 直通) **072-734-6255**

半年ぶりに  
**イートイン**再開します！

☒… スナック or スウィーツの日 ☑… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
1 休館日	2 コブさん 《タイ》	3 ☒ スナックセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	4 ルーパさん 《インド》	5 ☒ スナックセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	6 フランクリンさん 《キューバ》	7 ☒ スナックセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《ロシア》 10:00～13:00
8 休館日	9 ノックさん 《タイ》	10 ☒ スナックセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	11 クラウディアさん 《メキシコ》	12 アイリンさん 《イラン》	13 協会主催事業のため ランチはお休みです。	14 ☒ スナックセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
15 休館日	16 ホーさん 《香港》	17 トゥエットさん 《ベトナム》	18 ☒ スナックセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	19 ☒ スナックセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	20 ホーさん 《香港》	21 ☒ MAFGA スナック
22 休館日	23 ☒ スナックセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	24 ☒ スナックセット (9:30～15:00) ☒ MAFGA スナック	25 フランクリンさん 《キューバ》	26 アイリンさん 《イラン》	27 ルーパさん 《インド》	28 ☒ スナックセット (9:30～15:00) 世界の朝ごはん 《中国》 10:00～13:00
29 休館日	30 協会主催事業のため ランチはお休みです。	31 ノックさん 《タイ》				

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



# 国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

定例イベント	<b>読書会</b> <b>11/14 (日)</b> <b>10:30 ~ 12:00</b>	<b>多文化共生理解のための読書会</b> 「ある在日コリアン家族の物語 つないで、手と心と思い〜絵と物語で読む在日 100 年史」を読む。本を読んで集まり、感じたこと、考えたことを話しましょう。申込みくださった方には、本をお貸しします。(要返却)	定員 : 10 名 (要申込) 場所 : オンライン (Zoom) 参加費 : 無料
	<b>読書会</b> <b>11/21 (日)</b> <b>14:00 ~ 16:00</b>	<b>Sunday Book Review</b> 英語の原書を一緒に読みましょう! 読む本: The Remains of the Day / 日の名残り 著者: Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ	場所 : 講座室 参加費 : 300 円 + ドリンク代 申込み: 初参加の場合要申込
	<b>上映会</b> <b>11/20 (土)</b> <b>18:00 ~ 20:00</b>	<b>みのお cinema 上映会</b> 毎月1本、視点を豊かにする映画を上映 <b>【上映作品】 できる - セ・ポシブル</b> フランス / 99 分 / 2019 年 / 監督 マチルダ・ジュリアン & ジョナサン・カレン 若いフランス人カップルがヘッチハイクで全国を巡り、日本で見つけた持続可能な暮らしの未来像。上映後に感想交流会あり。(オンライン併用)	定員 : 10 名 (要申込) 場所 : comm cafe  参加費: 一般 700 円 賛助会員・大学生以下 無料 (+ドリンク代 300 円~)
	<b>多文化体験</b> <b>11/6 (土)</b> <b>13:30~15:30</b>	<b>多文化体験・交流・学びクラブ まふがっこ</b> 2021 年度も地域の子どもたちを対象に、地域に暮らす外国人市民との交流を通して、多文化を体験する連続講座で、直接文化にふれよう! <b>【テーマ】ブラジルの文化と遊び 講師: 中原 エリアネ あや子</b> ▶ 次回: 12/4 シチ ゴック トウエット (ベトナムの文化と遊び)	対象 : 小学生 定員 : 5 名 (要申込) 場所 : オンライン (Zoom) 参加費 : 無料
	<b>オンライン</b> <b>11/13 (土)</b> <b>12:00 ~</b>	<b>多民族フェスティバル特別編</b> <b>~みんなでつくる まつりの裏側~</b> フェスティバルの紹介、世界各地からの縁の人のメッセージ、実行委員会 の参加団体の紹介、など ※アクセス方法は協会のホームページをご確認ください。 <a href="https://mafga.or.jp/">https://mafga.or.jp/</a>	対象 : どなたでも 場所 : オンライン (youtube) 参加費 : 無料 

## 日本ではたらきたい人へ! 就職支援セミナー&キャリアカウンセリング

**11/27 (土)**  
13:30-14:40  
15:30-16:30

- ・履歴書の書き方アドバイス
- ・日本語の面接攻略アドバイス

講師 : 水江泰資さん (FAJ 日本ファシリテーション協会理事)

2022.  
**1/29 (土)**  
13:30-16:30

- ・仕事のための実践日本語
- ・日本の職場マナー
- ・個別相談タイム

対象 : 外国人市民  
定員 : 6 名 (要申込)  
参加費 : 無料

★セミナー参加者に、企業とのマッチング交流会を後日ご案内します!

## 唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で 40 年の歴史~

\*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書 (Dipolma) や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才 ~ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者 (姿勢科学士) が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。



〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)  
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員



## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。  
 コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

### 上映会

11/6 (土)  
18:30-20:30

### みのお cinema 上映会 2021@みのお市民活動センター

【上映作品】 エレメンタル

私たちが生きている時代で最も過酷な環境問題に対峙し解決のために奮闘する、「水のガンジー」「ウォーターマン」と称えられる著名な活動家ラジェンドラ・シンなど自然と強い絆を持つ3人の活動を負ったドキュメンタリー。

◎上映後に感想交流会あり。

場所 : みのお市民活動センター  
(箕面市坊島 4-5-20)  
 参加費 : 700円  
 定員 : 12名 (要申込)  
 主催 : 暮らしづくりネットワーク北芝  
箕面市国際交流協会  
 申込 : みのお市民活動センター  
TEL...072-722-2666  
Mail...forum@minoh-npo.com

### 美術展

11/10 (水)  
11/14 (日)

### 在日朝鮮学生美術展 2021

全国のウリハッキョ (朝鮮学校) に通う在日4世、5世の児童・生徒たちと美術部員の作品を各地方別に審査し、選ばれた作品を展示。

場所 : 東大阪市民美術センター  
(大阪府東大阪吉田 6-7-22)  
 参加費 : 無料  
 主催 : 在日朝鮮学生美術展大阪実行委員会

### 対話

11/12 (金)  
19:00-21:30

### 教育カフェ～ 100 回つづける対話マラソン～

「対話の文化を育もう」そしてその先にある「子どもたちを豊かに育むことができる社会を創っていこう」という想いで2012年にスタートし、2020年6月、新たに「教育カフェ～100回つづける対話マラソン～」としてリニューアル。

◎話題提供者: 久保 敬さん (大阪市立木川南小学校長)

場所 : オンライン (ZOOM)  
 参加費 : 700円 (要事前申込)  
 定員 : 35名 (要申込)  
 主催 : NPO 法人コクレオの森  
 申込 : <https://kyocafe82.peatix.com/>

### 講座

11/25 (木)  
18:30-20:30

### 子どもの虐待と親の回復支援 ～社会からの「孤立」を防ぐために～

講師の実践を通して、虐待についてのとらえ方を振り返り、虐待を生みだす社会からの「孤立」をどう変えていくのかを考える。

◎講師: 伊藤悠子さん (看護師・公認心理師・メディエーター)

場所 : オンライン、人権平和センター-螢池  
(豊中市岡町北 3-13-7)  
 参加費 : 無料  
 定員 : 60名 (要申込)  
一時保育あり。(要申込)  
 主催・申込 :  
(一財) とよなか人権文化まちづくり協会  
TEL...06-6841-5300

### 講座

11/27 (土)  
14:00-16:00

### 身近にいる外国人労働者の現状 ～ベトナム人女性技能実習生への支援活動を通して～

技能実習制度の基礎知識や制度の問題点、支援活動から見える実態、市民にできるサポートについて、特に女性に関わる問題を中心に学ぶ講演会。

◎講師: 斉藤善久さん (神戸大学大学院国際協力研究科地域協力政策専攻准教授)

場所 : 豊中市立生活情報センター-らしかん  
(豊中市北桜塚 2-2-1)  
 参加費 : 500円、学生無料  
 定員 : 50名 (要申込)  
一時保育あり (要申込)  
 主催・申込 :  
NPO 法人国際交流の会とよなか  
TEL...06-6840-1014

### 映画祭

12/4 (土)  
12/12 (日)

### 東京国際ろう映画祭 Tokyo International Deaf Film Festival

ろう者視点でセレクトした最新の映画から往年の話題作 32 本を会場とオンラインで一挙上映。  
2021年のテーマは「異質」。

場所 : オンライン、ユーロライブ  
(東京都渋谷区円山町 1-5)  
 主催 : 東京ろう映画祭実行委員会



coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう!  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ : 〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

## めろん編集ボランティアスタッフ募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 会議の日程は変更になる場合がありますので、参加される際は、事前に協会までお問合せください。

## めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいますか。置いてくださるお店なども大歓迎! フォームから必要事項を記入ください。



## 編 集 後 記

2012年から、大阪で40年近く、身体障害者だけでパフォーマンスをおこなっている劇団「態変」が年3回発行する情報誌(イマージュ)の編集をボランティアでおこなっている。8月末に出した最新号では、相模原「やまゆり園」の障害者大虐殺事件から5年、そして今年の3月には名古屋入管で元留学生のウィシュマさんが適切な治療を受けられず死亡した事件を受け、「収容」をテーマに特集を組む中でいろいろ考えた。

辞書的に「収容」は、「人や物を一定の場所や施設に入れること」。例えば「被災者を収容する」と言えば、安全な場所への保護、という意味にもなるだろう。しかしながら、実際は、施設への収容がとてつもなく長期化したり、密室で危害が加えられたりするケースが後を絶たない。

過去もいまま、「施設」とは、社会とのつながりを断ち、自由を奪い、管理や支配を通じて個性や主体性がそぎ落とされるところだとつくづく思う。あるときは「障害者」、またあるときは「非正規滞在者」。一方が圧倒的な権力をもって鍵を握り、その扉の向こう側にいる人たちを「いるべきでない人物」として排除する。重篤な障害や国籍による制度の壁がある人は、「煮るなり焼くなり、好きにされてよい人間であり、そのような人たちが一定数社会に存在することはやむを得ない」という二重基準がこの社会に漠然と、しかし根強く存在している。このようなことが容認される社会では、そこに暮らす自分もまた、自らの手で自らを閉じ込めてしまっているのではないか。

来日していたワヨミさん(ウィシュマさんの妹)が、入管の監視カメラ映像を見た後泣き崩れて語った「日本のすべての外国人は見るべきだ。ここには人道がない。」という言葉が楔のように突き刺さる。きついが、この状況を変えるまで抱え続けるしかない。(岩城)

## アクセスマップ



## オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
  - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

## 阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

## 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋真佐子、荻野克彦、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、結城なお、鷺尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ:(公財)箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター  
Tel:072-727-6912 Fax:072-727-6920 E-mail:info@mafga.or.jp

HP:www.mafga.or.jp FB:facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル:http://portal.mafga.or.jp/